目　次

はしがき

第１章　地域間交流と相互理解に果たす
　　地尊心（ちそんしん）の役割……1

第１節　地域表象の心理学……2

1　地域表象とアイデンティティ……2
2　地域表象の差異……3

第２節　岐阜の地域自己ステレオタイプ……4

1　“大野伴睦”像……4
2　地域ブランド力調査……6

第３節　地尊心；地域の誇りを考える……7

1　自尊心……7
2　ジョハリの窓……8
3　自己開示と自尊心……9
4　地域と自尊心……10

第４節　地尊心と地域ホスピタリティ……11

1　ホスピタリティ……11
2　地域ホスピタリティの向上と地尊心……13
3　地域自己ステレオタイプに囚われない地域おこし……14

第５節　地域を知ることと地尊心……15

1　地域を聴く……16
2　良いことを聴いて地尊心を高める……17

第６節　まとめ……19

第２章　観光立国への課題……22

はじめに……22

第１節　観光立国で用いられる尺度……23

1　訪日外国人旅行者と訪日外国人観光客……23
2　訪日外国人旅行者数の推移……24
第2節　観光立国への政策とその担い手……26
1　観光立国への政策……26
2　観光立国の担い手……26
第3節　観光総合力の国際比較……30
1　観光総合力……30
2　観光総合力指標……31
3　日本の旅行・観光競争力指数……33
第4節　観光一流国への道……39
第3章　観光政策に関する近年の整備拡充と今後の課題……46
はじめに……46
第1節　国土交通省・観光庁による観光統計の整備……47
1　観光統計の整備……47
2　観光関連統計と経済効果推計の関係……50
第2節　観光・地域振興のための様々な行政レベルでの施策……55
1　観光振興のための施策と条例……55
2　観光地域づくり実践プランの実施……61
むすびに……63
第4章　国内における観光と物流事業
——消費者物流と観光の接点——……66
はじめに……66
第1節　観光と物流事業……66
1　観光研究に関する交通と物流の接点……67
2　交通事業からみた観光……68
3　物流事業からみた観光……69
4　物流領域における消費者物流の位置づけ……71
5　スポーツレジャーと物流……72
6　高速道路と物流・観光の関係……72
7　空港における物流……73

8　観光施設としての高層建築物内での配送……74
第2節　海外からの観光と物流……74
1　観光客と物流の現状……74
2　観光客と国際宅配便……74
3　日本にくる外国人観光客の購入からみた物流……75
4　北九州における家電の事例……76
5　手ぶら観光と物流……77
6　北海道国際輸送プラットホームの取り組み……79
第3節　今後の観光と物流との関わり方……82
1　新しい観光に対する新サービスの展開……82
2　産業観光資源としての物流……82
3　物流センターの観光地化の可能性……83
4　外国人の嗜好による観光客増……84
5　今後の国内における観光と物流事業……85
第5章　取り戻せ，地域の誇り
——桑名「水郷舟めぐり」を追って——……88
はじめに……88
第1節　水運事業の観光化と“地域アイデンティティ”……89
1　観光舟めぐりの歴史的背景……89
2　大垣の舟めぐり……92
3　“地域アイデンティティ”としての水運の歴史……96
第2節　桑名市主催「桑名水郷舟めぐり」までの道のり……97
1　桑名の舟運の変遷……97
2　舟運の観光化に向けて——くわなリバークルーズ社の足跡——……99
3　観光振興プランの策定……104
第3節　「桑名水郷舟めぐり」の実績……105
1　舟めぐりのコースと特徴……105
2　舟めぐりの実績……109
第4節　「桑名水郷舟めぐり」の展望……112
1　民間の希望……112
2　行政への期待……116
結び　地域と観光の未来のために……119

第6章　産業遺産の観光資源化
——イギリス産業革命と工業化の足跡を辿る——……123

はじめに……123
第1節　産業遺産は地域の誇り……124
1　オブジェとしての産業遺産……124
2　地域アイデンティティとしての産業遺産……125
3　地域の誇りを観光資源にする……125
4　外国人観光客にも地域を誇る……126
第2節　ヨーロッパの産業遺産……127
1　ヨーロッパの工業化——産業革命——……127
2　世界遺産……128
3　ヨーロッパ産業遺産の道……129
第3節　イギリスにおける産業遺産と観光……130
1　イギリス産業革命の足跡を辿る……130
2　マンチェスター科学産業博物館……131
3　繊維の道を辿る……133
4　製鉄の道を辿る……138
5　動力としての蒸気機関の原点を辿る……140
6　小括……142
おわりに——日本の産業遺産をヨーロッパ産業遺産の道につなぐ——……144

第7章　災害時に途絶しない所在確認のための通信手段……146

第1節　背景……146
1　正常性バイアスを避ける準備の重要性……147
2　研究地域の設定と概要……148
第2節　瑞穂市における直下型地震の被害想定……149
1　災害図上訓練（以下，DIG；Disaster Imagination Game）の概要……150
2　瑞穂市地域の特徴……152
3　瑞穂市における直下型地震発災後の被害と避難……153
4　まとめ……155

第3節　被災者のメディア利用のニーズと問題点……155
1　東日本大震災時の避難者の情報行動……155
第4節　途絶しない安否確認システムの提案……157
1　想定される使用と要求する仕様……159
2　通信部のハードウェア構成……160
3　通信部のソフトウェア構成……160
4　消費電力と通信可能な時間……161
5　解決すべき課題……162
第5節　今後の展望と課題……163
1　システムの設計と実装……163
2　通信機能の実証……163
3　防災訓練を通じた実用性の検証……164

第8章　かきりんしってる？
——瑞穂市イベント会場での市政広報への意識調査——……167

第1節　調査の概要……167
1　かきりんと瑞穂市の概要……168
2　地域イメージに関する先行研究……169
3　調査概要……170
第2節　方法……170
第3節　質問紙……172
1　回答者の属性を測定する項目……172
2　かきりんのイメージに関する項目……173
3　瑞穂市について知りたい情報……173
4　瑞穂市のホームページを見る状況……174
第4節　回答者概要……174
1　居住地の市内外……174
2　回答者の性比……174
3　回答者の年代……175
第5節　かきりんのイメージ……175
1　かきりんの認知率と好意度……175
2　かきりんを認知したメディア……176

3　回答者居住地（市内・市外）による評価の違い……176
第6節　自由回答の分析について……179
1　イベントや施設利用についての情報を求めている……181
2　医療情報，育児情報，防災に関する情報を求めている……181
3　市の宣伝に対する考え……181
4　情報提供メディアについての考え……182
第7節　論議と提言……182
1　瑞穂市自身の効果的な宣伝を考えるべきである……182
2　情報取得者の求める情報の発信……183
3　情報提供メディアの刷新……183
4　結論……183